

経営比較分析表（令和3年度決算）

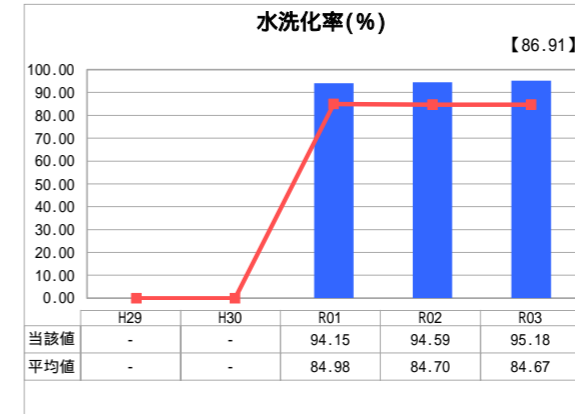
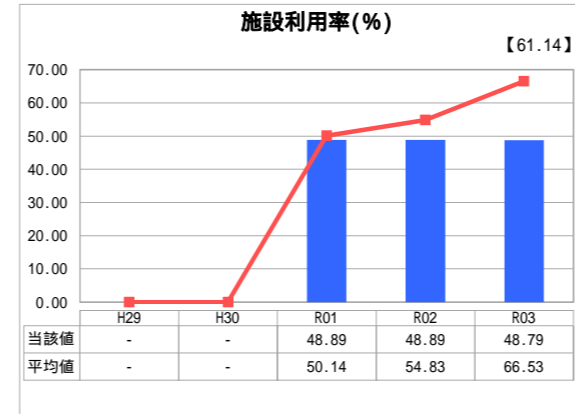
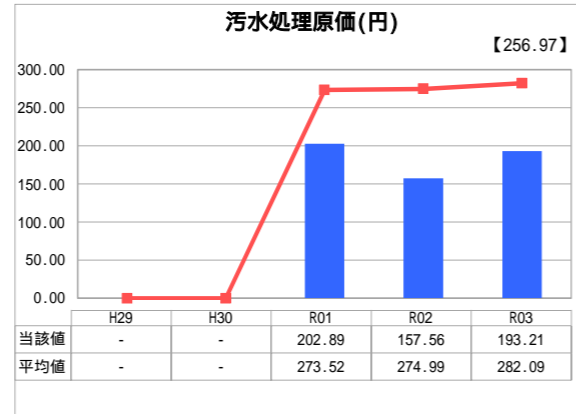
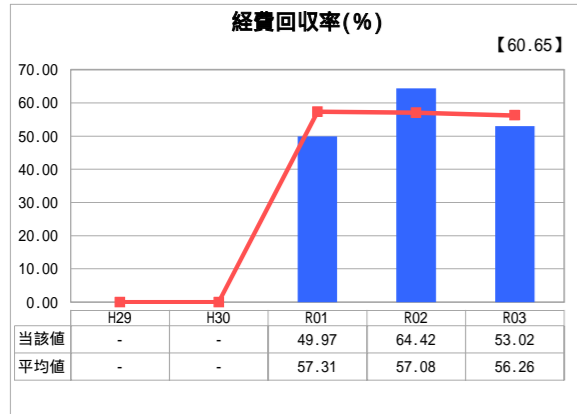
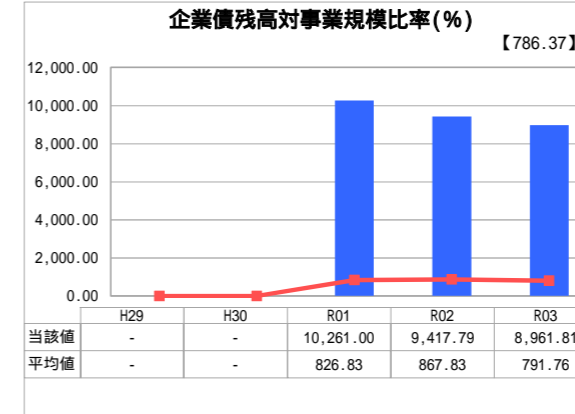
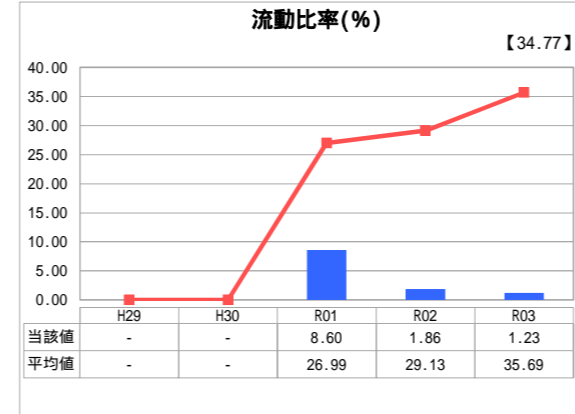
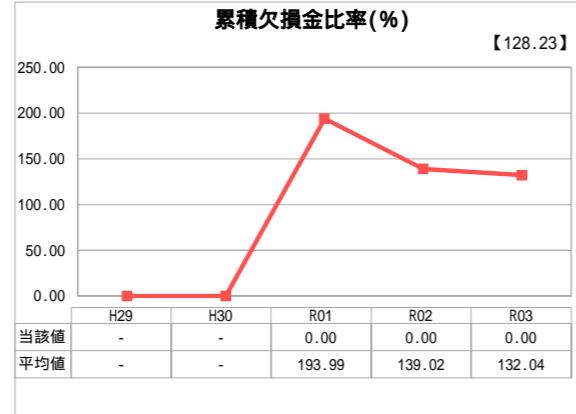
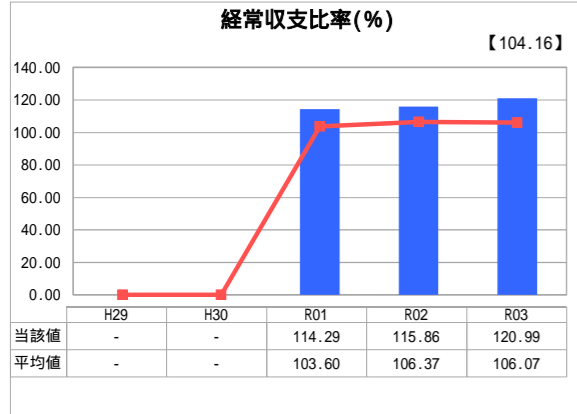
兵庫県 稲美町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	28.08	14.18	86.41	2,010

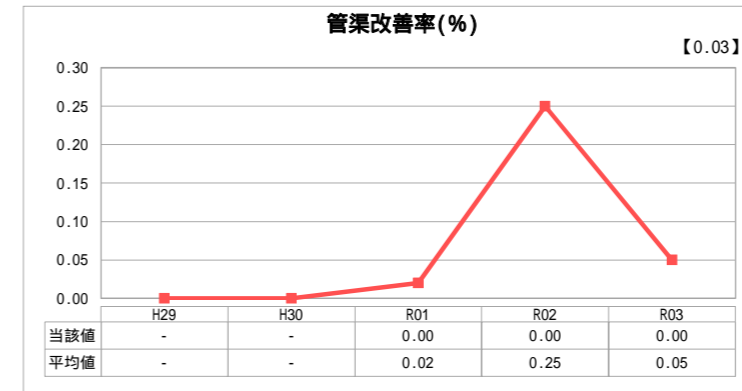
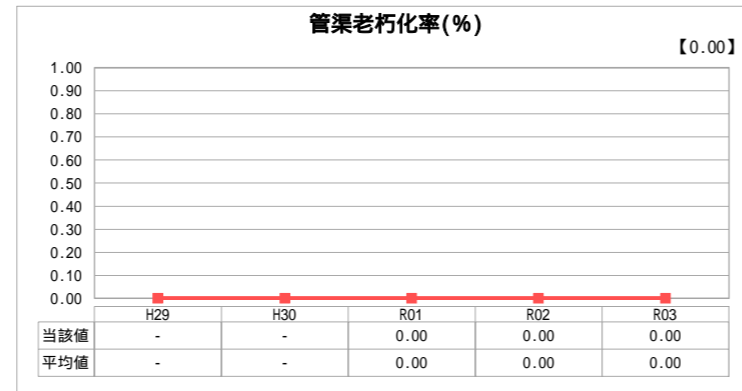
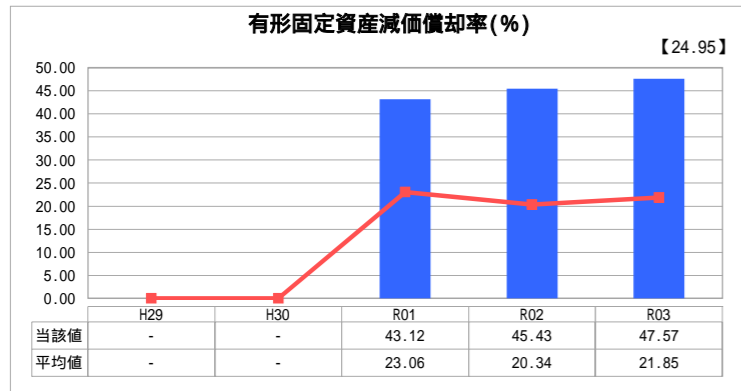
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,705	34.92	879.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,340	1.17	3,709.40

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は良好な数値であり、累積欠損金も0となっていますが、これは一般会計からの繰入金があるためです。経費回収率については平均値よりも高く(良く)なっていますが、今後、施設の維持管理費用や、機器類等の更新に要した企業債の償還費用の増加が見込まれるため、収支状況が悪化する恐れがあります。そのため、さらなる経費節減や効率化に努めつつ、また修繕費等の維持管理費用や管渠の更新費用等に対する適切な使用料の設定も必要であると考えています。

企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均及び全国平均よりも大幅に高く(悪く)なっていますが、今後、一般会計負担額の検討を行っていく必要があると考えています。

汚水処理原価については、類似団体比較において低くなっていますが、大幅な有収水量の増加が見込まれないことから、今後、汚水処理費が高くなることが予想されます。

水洗化率は約95%と高水準である一方、施設利用率は、類似団体より低く(悪く)なっていることから、施設の高効率化が検討課題となっています。

2. 老朽化の状況について

既設管渠及び施設、機器類に関しては、必要に応じて、清掃作業並びに躯体補強等により維持管理をしながら継続して使用していく方針です。

全体総括

施設の維持管理や汚水処理の費用、一般会計からの繰入金で賄っている施設建設のための企業債の償還金が年々増加していることに加えて、使用料による収入も大幅な増加が見込まれないため、引き続き経費節減と効率化に取り組み、将来にわたって農業集落排水事業の円滑な運営を図り、衛生的で快適な生活を維持していくため、経営戦略をもとに使用料の改定を検討するとともに、長寿命化計画をもとに農業集落排水事業の健全経営を目指します。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。